

第1回久米島ビジョンラボ結～島ぬ3時茶あ会議～まとめ

■開催日程__令和6年10月9日9:30～11:30

■参加者__17名（生活4名、生業産業5名、自然環境3名、統合調和4名）

■これまでの課題と成果に関するまとめ（考察）

視点	まとめ
生活	● 人口減少の現状や対策を講じる必要性を課題として認識している。 ● これまでの10年間は、医療福祉に関する取り組みについて効果を得られている一方、安定した医療体制や医療費の高騰など生活サービスに課題がある。 ● その他、住宅不足、働き手の不足も影響し、生活サービスに課題が生じているとされた。
生業・産業	● 水産業では、水産加工場の整備により品質の確保及び量産体制が確立できた一方で、原料不足や人材不足、技術力が不十分であることが指摘された。 ● 観光業では、振興計画が策定され、そのプロセスで事業者間連携やDMOの組成により関係団体の意識向上が図られた。次の展開として、観光人材の確保、2次交通環境の整備、客層の拡大が必要とされた。
自然・環境	● 久米島の海岸及び海域では、赤土流出対策、漂流ゴミ対策など海の環境保全に成果がみられた一方で、継続的又は強化して実施する必要があるとされた。 ● 住居環境では、景観保全、空き家に関心が高く、今後も大事な取り組みとして認識している。
統合・調和	● 上記3つの視点を関連付け統合・調和させていくためには、生活に必要なインフラや公共施設の適正管理や公共サービスの効率化が重要としている。 ● 持続的に暮らすためにも、医療・福祉・教育の充実を図り、住宅や雇用など、人口を支えていく生活サービスの向上、移住定住の支援が必要とされた。

■これからの島づくりに関する意見まとめ（考察）

- 生活の視点では「住み続けたいしまづくり」を目指し、医療・福祉・教育の連携によるきめ細やかな住民サービスの展開、生活の質を向上させる住環境整備、地域コミュニティや娯楽の機会を提供する公民館的機能の充実・拡充が望まれる。
- 生業・産業の視点では「次世代へ継げる島づくり」を目指し、水産業や農業の生産基盤の強化、観光業と連携する新たな観光メニューの展開、深層水の活用含めた産業全体の稼ぐ力の向上が望まれる。
- 自然・環境の視点では、久米島の特徴ある自然環境の保全、景観の維持・継承が望まれる。特に農地保全、赤土流出対策、海洋ごみ対策は、今後も継続が重要である。
- 3つの要素を繋ぐ統合・調和の視点では、「ゆたかでうるおう島・・・夢も心も懐も・・・」に向けて、起業支援を行う「挑戦を応援する島」、地域住民同士や住民と観光客の交流を促進する「つむぐプロジェクト」として、次期計画をけん引するリーディングプロジェクトとして位置付けることを提案した。

生活グループ

これまでの課題・成果

医療	成果	● 渡航費助成回数制限撤廃（ガン、指定難病、小児慢性）
	課題	● 安心した医療体制 ● 医療費の増加
人口	成果	● 人口減少の共通認識ができた ● 人口減少対策がいろいろ取り組まれている ● 総合計画がいろんな所で活用されてきた
	課題	● 少子高齢化 ● 約 100 名の人口減少が続いている ● 独居老人が増えている
住まい	成果	—
	課題	● 住まい不足が大きな課題
産業	成果	—
	課題	● 各産業で人手不足感がある ● 労働環境⇒連携や支援
町民	成果	—
	課題	● 意識改革（変化に強くなること） ● 自立、住民主体の取り組み
子育て	成果	● 出産前後における経済的負担軽減への取り組み ● 児童発達支援への理解と取り組み ● 子の居場所整備（学童クラブ）
	課題	● 島内で出産できない

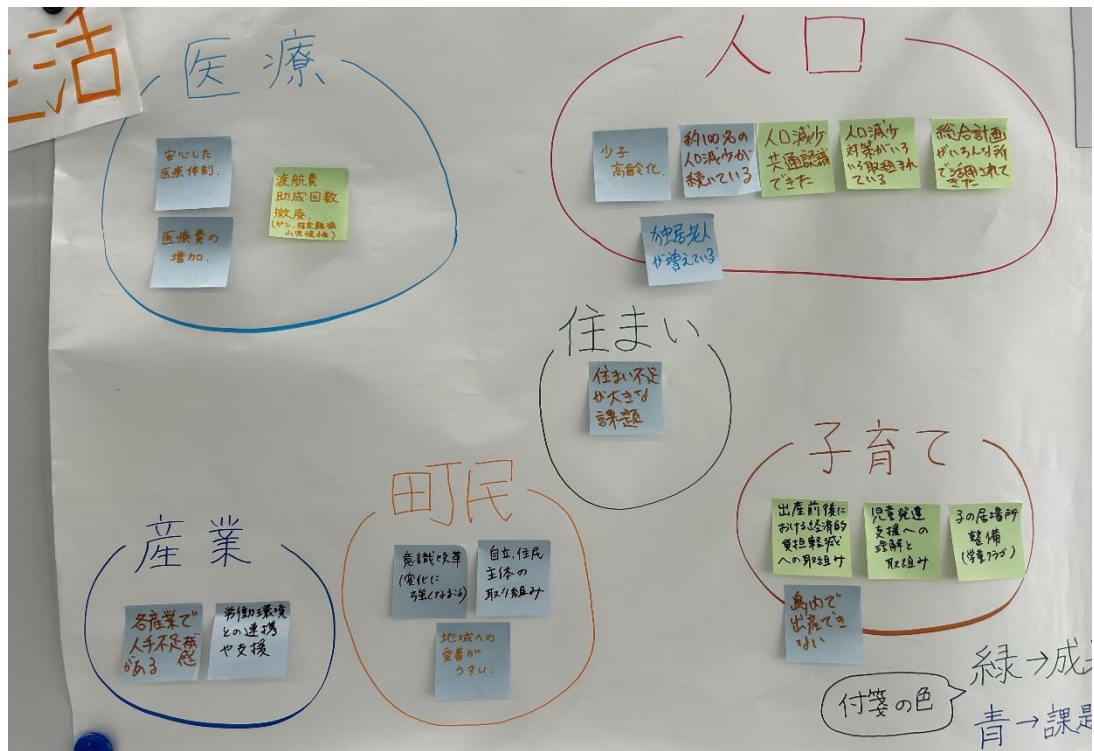
これからの島づくり

望ましい姿（将来像）：住み続けたい島づくり

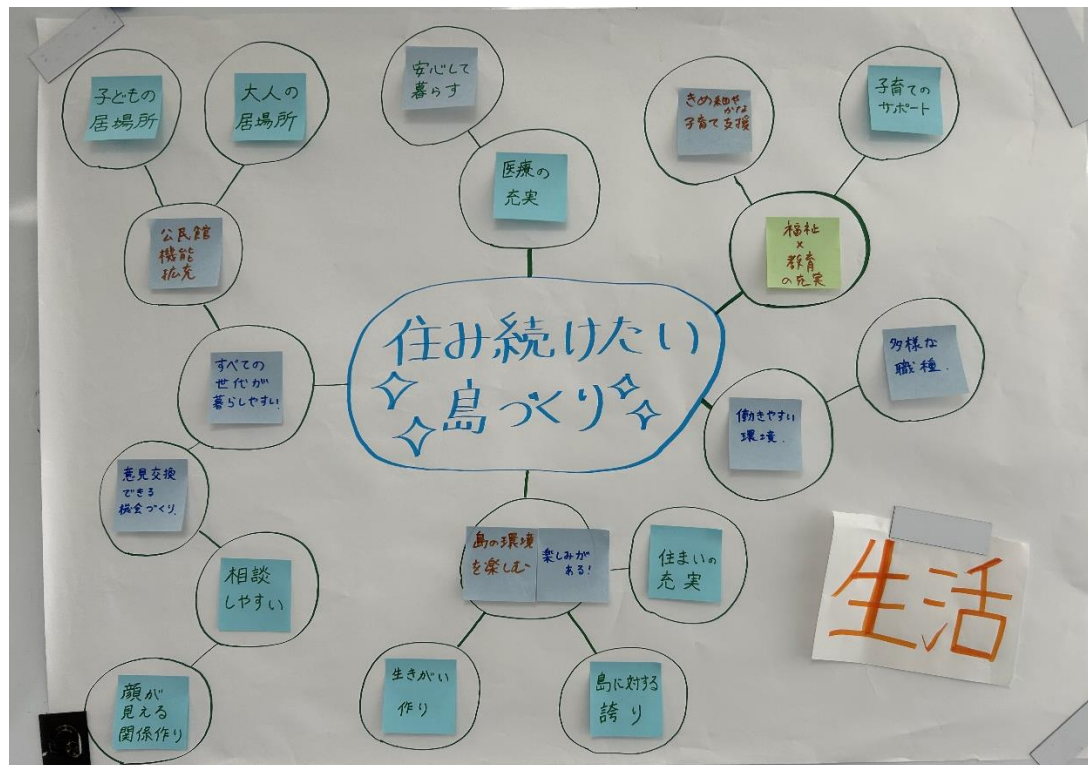
- 医療の充実→安心して暮らす
- 福祉×教育の充実→子育てサポート、きめ細やかで切れ目ない子育て支援
- 働きやすい環境→多様な職種
- 島の環境を楽しむ（楽しみがある！）→住まいの充実、島に対する誇り、生きがいづくり
- すべての世代が暮らしやすい
 - 意見交換できる機会づくり→相談しやすい→顔が見える関係作り
 - 公民館機能拡充→子供の居場所、大人の居場所

ワークシート写真

これまでの課題・成果



これからの島づくり



生業・産業グループ

これまでの課題・成果

水産加工場整備	成果	● 品質の確保—量産化体制ができた、出荷時間の短縮 ● 雇用の創出
	課題	● 原料不足—海の水温が影響か。何か原因か把握できない。 ● 島人のクオリティ不足 ● 外国人研修生に頼りっきり
観光振興計画	成果	● 事業者間の連携が取れるようになった ● DMO の組成による経済団体の意識向上
	課題	● 観光人材不足 ● 2 次交通の環境が整っていない ● 富裕層客の確保

これからの島づくり

望ましい姿（将来像）：次世代へ継げる島づくり

【稼ぐ力】

- 誇れる・見本となる人材（担い手）の発掘
- 深層水の活用
- 久米島ブランドの確立

【水産】

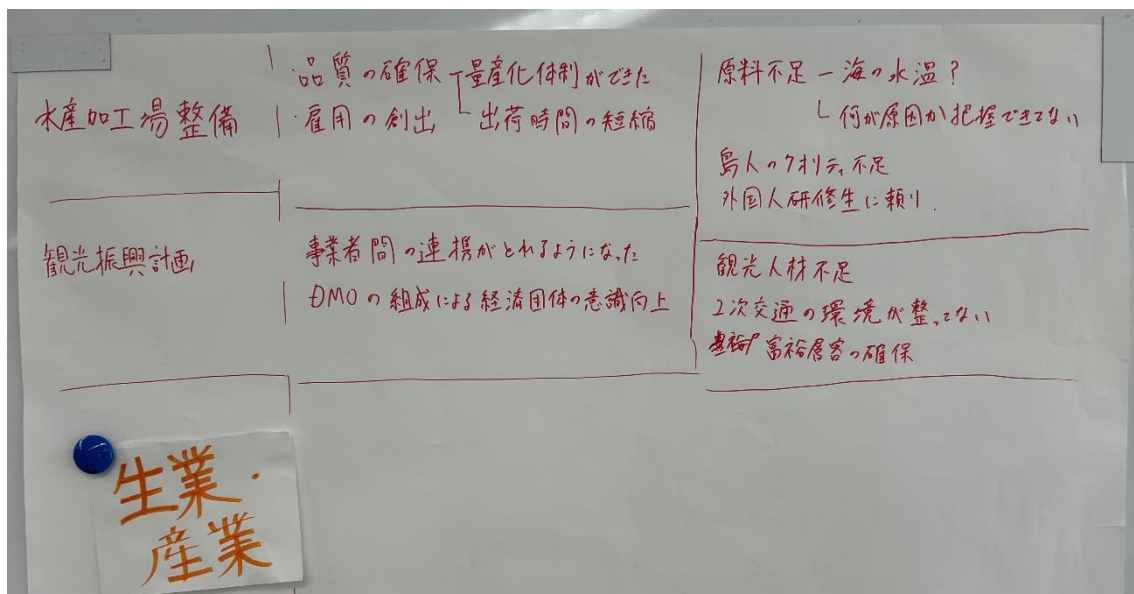
- 水産×観光＝遊漁船（釣り客）
- 環境整備（サンゴ保全・赤土対策）
- 新商品開発

【農業】

- 担い手づくり
- ちゃんと相続
- 機械化
- ホワイト労働
- 農業×観光＝農業ツーリズム
- ブランド化—特産品のブラッシュアップ&販売

ワークシート写真

これまでの課題・成果



これからの島づくり



自然・環境グループ

これまでの課題・成果

企画課の視点	成果	● 空き家対策 ● 景観維持 ● 害虫（白アリ）被害防止
	課題	● 空き家の所有者や管理者の協力が必要 ● 空き家を取り壊す費用が高い ● 老朽化空き家の増加 ● 台風などの災害による近所への被害
建設課の視点	成果	● 沈砂池、赤土の流出防止対策 ● 海域の赤土流出が減った（かも） ● 移住促進住宅整備（町営） ● 空き家リフォーム、住宅問題の解決
	課題	● （赤土流出対策は）農家の協力が必要 ● （赤土流出対策は）地形上（傾斜地）の施工課題が多い ● （沈砂池整備は）用地買収が必要 ● （農地保全に関し）畑の未相続が多数あり。 ● （空き家対策は）コスト・時間、マンパワーが必要
産業振興課 の視点	成果	● サンゴ保全、藻場保全 ● 赤土流出防止（グリーンベルト、足場板） ● アマモ(カメ)食害防止柵は効果有。完全に食害を防げる ● 海洋ごみ拾い
	課題	● どれだけ赤土流出を防げているか不明 ● （漂流・漂着）ゴミを拾っても全然減らない。（すぐに別のゴミが漂着する。） ● ゴミ処理が難しい、本島に持っていく必要があるものが多い
教育委員会 の視点	成果	● 自然環境教室等の実施 ● 子どもの自然・環境への興味関心
	課題	● 親（おとな）の関心が影響大きい

これからの島づくり

【農地】農家と連携した営農対策、農作物の安定生産・出荷

【景観】危険な空き家の除却を促進、空き地を利用し新たな家（建物）を立てる

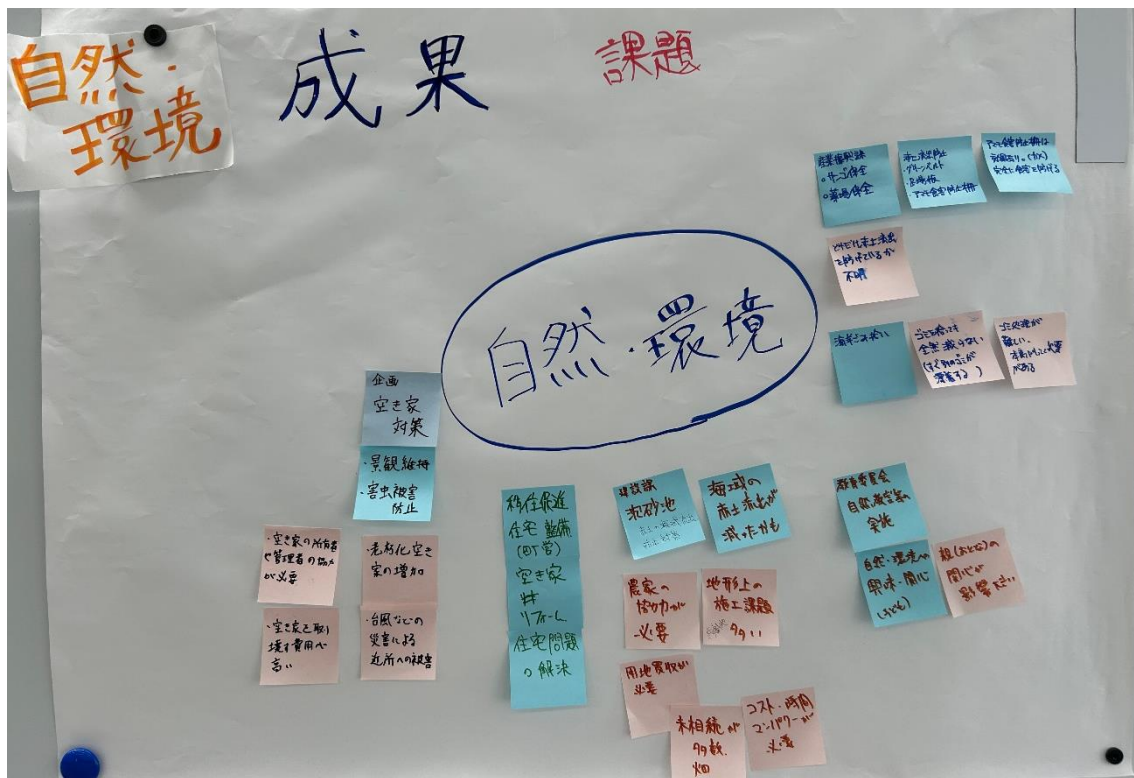
【自然保全】海に関する人・利益を得ている人や観光客を巻き込んで回復・海ゴミの対策

サンゴ・藻場の回復→漁業水揚量の増加・維持、漁業者の維持

海ゴミを減らして景観良くする、観光客や移住者増

ワークシート写真

これまでの課題・成果



これからの島づくり



統合・調和グループ

これまでの課題・成果

インフラ 公共施設	● 風森オープン→閉館 ● 包括管理、修繕のスピード化 ● 事務処理効率化 ● 公共施設管理の計画と実行に相違がある→職員への周知不足
DX	● コンビニ交付開始予定、コンビニ・スマホ納付 ● DX 計画策定 ● 情報のスピード化（ライン）、情報周知拡大 ● デジタル弱者への対応 ● 受診率アップ
三側面の統合	● 交流不足 ● 総合計画をつくった後、もっとやるべき（つくりっぱなしにしない） ● 周知共有不足、対話が不足 ● 使える資源ヒト・モノ・カネの認識が必要 ● 勉強（学ぶ）時間がない（少ない） ● 人材育成が弱い
暮らし続けていくには	● 魅力発信不足 ● 医療・福祉・教育（が大事） ● 移住・Uターン・定住、移住・定住者への後押し（支援） ● 住宅不足、人材不足

これからの島づくり

望ましい姿（将来像）：ゆたかでうるおう島・・・夢も心も懐も・・・

【挑戦を応援する島】

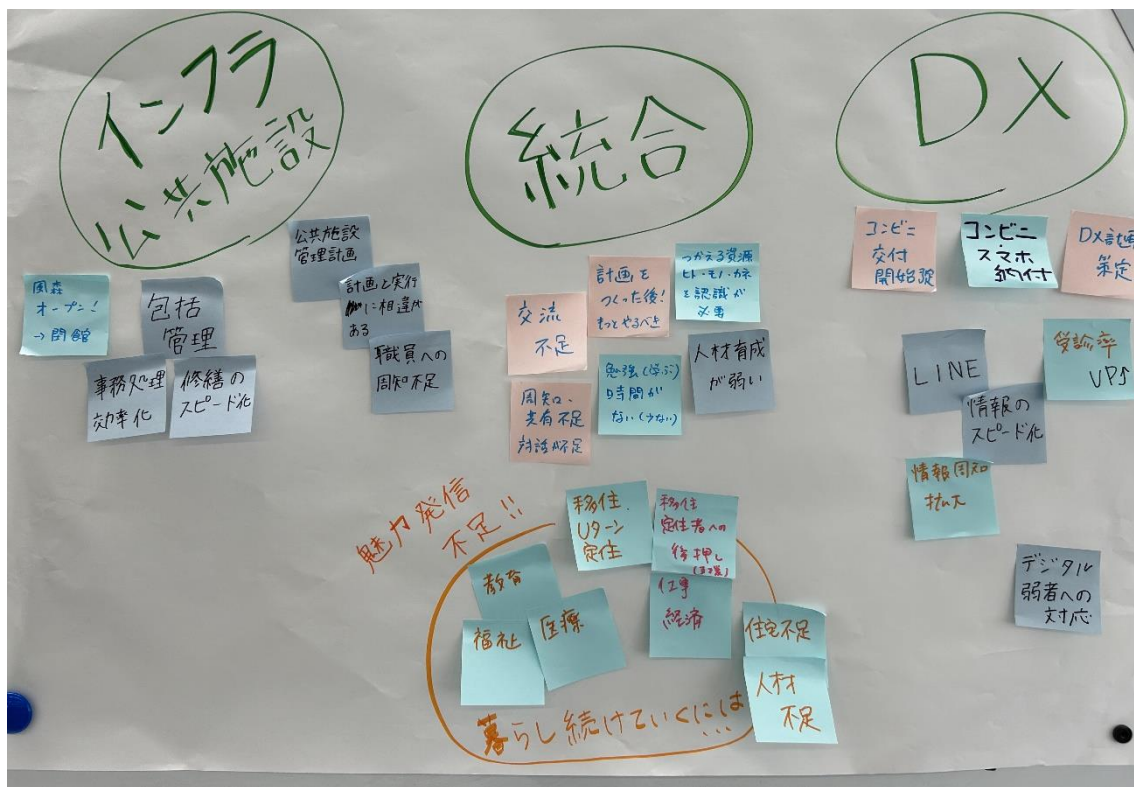
- 起業支援

【つむぐプロジェクト】

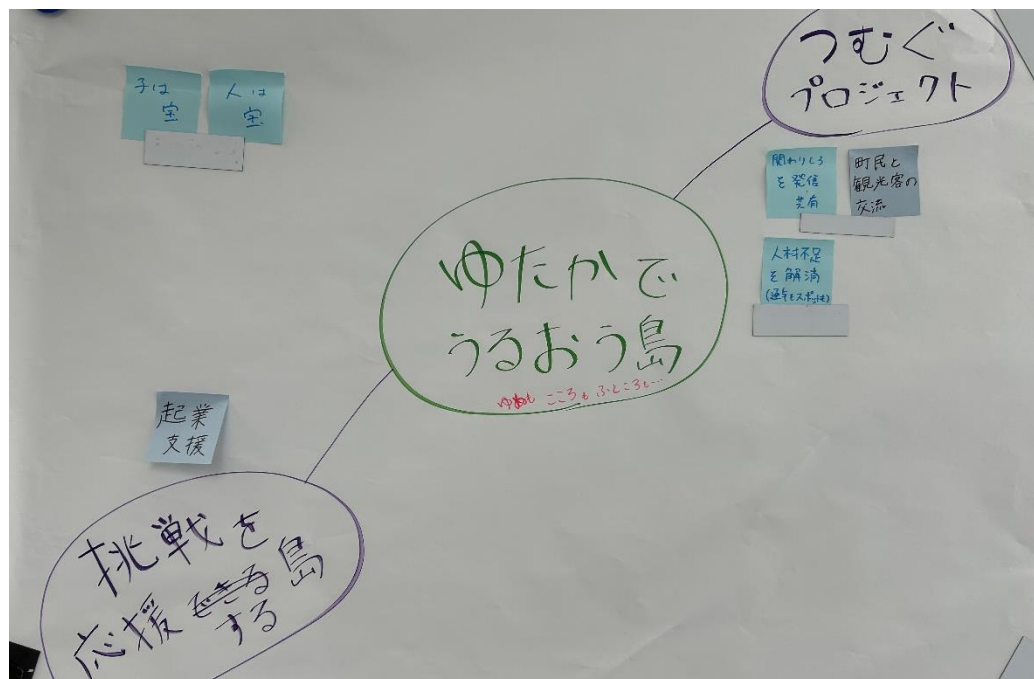
- 関わりの仕方を発信・共有
- 町民と観光客の交流
- 人材不足を解決（通年もスポットも）

ワークシート写真

これまでの課題・成果



これからの島づくり



職員 WG の様子

